

東京都立看護専門学校におけるコミュニケーションに関する到達目標

都立看護専門学校では、平成 23 年 2 月厚生労働省から示された「看護師に求められる実践能力と卒業時の到達目標」をもとに平成 25 年度より検討を重ね、各学年におけるコミュニケーション到達目標を設定した。コミュニケーション能力は、すべての看護の基本であり、看護師に求められる実践能力のひとつである。入学時から自己のコミュニケーション能力を到達目標に照らして振り返り、看護師として必要なコミュニケーション能力の獲得に取り組んでほしい。

- 1 年次** ○ クラスメイトやグループメンバー、及び教員や実習指導者と良好なコミュニケーションを取ることができる。
- 教員や指導者、グループメンバーの支援を受けて、患者の状況に気づき、1対1のコミュニケーションを取ることができる。

- 1-1 いかなる相手に対しても、ひとりの人として尊重した態度で接することができる。
- 1-2 言語的および非言語的な手段を問わず、他者に不快感を与えずに交流することができる。
- 1-3 相手の話を関心を持って聞くことができる。
- 1-4 自分の意見や考えを適切に伝えることができる。
- 1-5 患者の表情やしぐさの変化に気づくことができ、患者と話をすることができる。
- 1-6 実習指導者や教員に必要なことを伝えたり、質問したりできる。

- 2 年次** ○ 自己理解に努め、対象及び対象を取り巻く人たちの言動の意図や意味を考えてコミュニケーションができる。

- 2-1 学生チームの中で意見交換をすることができる。
- 2-2 苦手意識を持つ他者に対しても自己コントロールして対応することができる。
- 2-3 患者及び家族に関心を寄せて接することができ、相手の思いを聴き、共感することができる。
- 2-4 相手の受け止め方を把握し、相手に合わせて対応することができる。

- 3 年次** ○ 過去・現在・未来のみならず、環境や関係者など変化する状況をふまえたコミュニケーションができる。

- 3-1 他者との壁を作ることなく自分から近づいていくことができ、相互作用の中から自己を成長させることができる。
- 3-2 相手の思いを引き出すことができ、口に出さないメッセージを察し、確認することができる。
- 3-3 適切なときに適切な人に相談や援助を求めることができる。
- 3-4 看護者としてのコミュニケーションを振り返り、相手にとっての意味を考えることができる。
- 3-5 状況に応じた解決策を見出し、看護チームの中で意見交換できる。